

仙台市議会議員（青葉区）岡部 恒司

仙台市議会活動レポート

令和4年第3回定例会報告

2022年 秋 号

ホームページは
こちらです！

■発行人／岡部恒司

■ご意見ご要望は…〒981-0933 仙台市青葉区柏木2-4-16-501 TEL022-271-1770 <http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

今回の議会レポートは、令和4年第3回定例会報告です。今定例会では、計176億3,604万円を増額する補正予算案2件を含む24議案を可決いたしました。主な補正は、ワクチン接種費や製品プラスチック一括回収・リサイクル事業費など。

また、来年5月に開催される G7サミット時に仙台開催が決まった、科学技術相会合の準備費用として8,021万円を増額補正しました。

今回のレポートは、会派自由民主党 代表質疑の主な答弁と、他会派代表質疑の質問項目などを記載させていただきました。

是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。よろしく願いいたします。

令和4年第3回定例会 会派自由民主党代表質疑抜粋

仙台育英学園高校硬式野球部の全国優勝について

質問 この夏は忘れることのできない夏となった。夏の甲子園大会において宮城県代表の仙台育英学園高等学校が並みいる強豪校を次々と破り、東北勢の悲願であった深紅の大優勝旗を、白河の関を超えて仙台へと持ち帰ってくれた。

日本一に導いた監督の手腕に敬意を表するとともに、関係者の皆様に感謝を申し上げ、その偉業に対して心から祝福を送りたい。市長もアルプススタンドで歓喜の瞬間に立ち会われたが、どのような思いを抱かれたのか。

答弁 歴史的な偉業を成し遂げた瞬間を目のあたりにいたしました。汗と涙とそして感動と興奮とで胸がいっぱいになり、この夏、悲願成就に湧き上がる歓喜を、多くの皆様方と分かち合うことができた事は何よりの喜びであった。相手チームへの敬意を忘れない立ち振る舞いと共に、高校生に寄り添った愛情あふれる姿は、まさにチームが掲げられていた「日本一からの招待状」を受ける



にふさわしいものだと大いに感銘を受けたところだ。

職員の意識改革について

質問 本年の第一回定例会において、市政に対する信頼を確保するため、職員の一層の意識改革に取り組むべきことを申し上げたが、今年度に入ってから公務内外にわたる職員の非違行為、事務処理の誤りによる事案が毎月のように発表されている。職員の処分に至る不祥事だけではなく、基本的な事務処理でのミスが続く事は市民の信頼を著しく損なうことにつながる。当局には厳しく猛省を求めなければならない。これまでの事案を踏まえさらなる意識改革、事務処理の適正化に早急に取り組むべきだが認識を伺う。

答弁 今年度に入り市政の信頼を損なうような事案が続いて発生しておることにつきまして、お詫び申し上げるとともに深く反省すべきものと受け止めている。

今後は、一層の危機感を持ち管理監督者を含む職員一人ひとりが事務の基本である、根拠法令等に立ち返り確認するといった公務員として業務を進める上での根本となる意識を、今一度組織全体に浸透させるよう鋭意取り組んでいく。

今後の観光振興について

質問 大変厳しい経営状況に置かれている宿泊事業者をはじめ、観光に携わる事業者への下支えを行いながら、感染対策と社会経済活動の両立を図っていく取り組みがますます重要となってくる。

大きく落ち込んだ交流人口の回復・拡大は、アフターコロナの経済再生にとって不可欠であり、戦略性を持った取り組みが求められる。今回の補正予算も含めインバウンドや国内旅行客の獲得など観光振興にどう取り組んでいくのか伺う。

答弁 十分な感染防止対策を講じながら、集客力のある祭りやイベント等を開催するとともに、本市独自の宿泊促進キャンペーンなどにより旅行需要喚起のテコ入れを図っていく。

国内では福岡、大阪、海外ではタイ、台湾の現地セールスを展開するほか、仙台空港の国際線再開に向けたチャーター便の運行も支援していく。

今後の東北連携のあり方について

質問 少子高齢化による人口減少という課題に直面する東北地方が、将来にわたって活力ある地域として存在感を高めていくためには、東北の中核都市としての本市の役割がますます大きくなるものと考えている。

今後の東北連携のあり方について市長の考えを伺う。

答弁 さらに成長に向け本市の持てる強み、あるいは最新の技術を生かした先駆的なチャレンジにより、東北全体の活力の創出につなげていくことが必要と考えている。

仙台と山形の豊富な観光資源を組み合わせ新たな交流人口拡大の取り組みを進め、今後はデジタル化技術を活用した東北大学との高度な機能集積を生かした企業の育成支援など経済分野においても東北の皆様と連携をした取り組みを強化していく。

音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合化

質問 この複合施設は杜の都を象徴する青葉山エリアの魅力さをさらに高め、世界に向けて本市の都市個性を発信できるとともに、地域経済の活性化にも資する施設としていくべきと考える。

改めて青葉山エリアに2つの施設を復号化させ、整備しようという市長の思い、基本的な考え方について伺う。

答弁 本市が磨き上げてきた都市個性を合わせ、より豊かな文化や交流を生み、地域経済の活性化にも寄与する新たな文化創

造発信拠点を作りに上げていきたいと強く思いを抱いている。

国内外から多くの人々を惹きつけ、市民の皆様方が誇りに思う仙台を象徴する施設となることを目指し、具現化に向けた検討を鋭意進めていく考えだ。



全国都市緑化仙台フェアについて

質問 来年4月の開催まで8ヵ月を切り開催に向けた準備が急ピッチで進んでいる。

仙台が誇るみどりのまちづくりと合わせ、伊達政宗公が磨き上げた伊達文化や、震災からの復興について内外に発信することが大変重要と考える。現在の準備状況や今後のスケジュールと市長の決意について伺う。

答弁 仙台フェアは「杜の都から始まる未来、緑を舞台に人が輝く」をテーマとし多くの市民や企業の皆様にご参加いただきながら開催の準備を進めている。

仙台フェアの開催を通じ、花と緑にあふれるまちづくりの輪が、全国へとさらに広がる契機となるよう全庁一丸となって取り組んでいく。

質問 拠点として位置づけられる仙臺緑彩館への期待は非常に高まっている。本市のシンボルとなる場として発展していくような工夫も必要と考える。青葉山公園における今後の取り組みについて伺う。

答弁 青葉山や広瀬川の豊かな自然はもとより藩政時代からの歴史や文化、コンベンション施設など本市固有の資源や機能を最大限に活かしながら多くの市民や国内外からの来訪者が親しみ、交流する場として発展させていくことが求められる。杜の都のシンボルとなる公園を目指し取り組みを進めていく。



地下鉄沿線におけるまちづくりの推進

質問 南北線は開通から35年を迎え、沿線の市街地は成熟してきているが、今般改めて「南北線沿線まちづくりプラン」を策定する狙いや今後の進め方について伺う。

答弁 鉄道を基軸とした十字の都市軸への機能集約を図ることとしており、南北線の沿線においても既成市街地の機能強化や新たなにぎわい創出を図ることが重要であると考え、今年度末の策定を目指し進めている。

質問 東西線開通以降、東西線、南北線とも沿線の人口が増加するなどこれまでの取り組みの成果が見受けられるが、人口減少やライフスタイルの変化等の環境変化が想定される中、集約型のまちづくりは大変重要だと考える。今後本市の都市軸において将来どんな「街」の姿を目指し沿線まちづくりに取り組んでいくのか伺う。

答弁 地下鉄の沿線地域は本市の新たな個性、活力を生み出す発展軸であり、地域間の交流・連携したまちづくりを進め、「働く場所」「暮らす場所」「学び・楽しむ場所」となる「まち」を目指していくことが重要であると考えている。

それぞれの場所としての質を高めることにより新たな魅力や価値を連鎖的に作り出すことができるよう、地域の皆様と連携を図りながら取り組んでいく。



行政デジタル化への取り組みについて

質問 デジタル田園都市国家構想が閣議決定され、地方は自らが目指すべき社会の姿を描き自主的・主体的に構想の実現に向けた取り組みを推進するとされている。本市は本計画において自らが目指すべき社会をどう描いているのか。

答弁 本市の計画では「人を中心としたDX」を掲げており、子育てや福祉など市民生活の様々な分野でデジタルの力を活用して、より安心で利便性の高い社会を目指すよう取り組んでいる。

市民の皆様方に暮らしやすさが実感され活力のある街として選ばれるよう全庁を挙げて取り組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症への対応

質問 過去最大といえる第7波において、市民の命と健康を守るため、市長としてどんな認識のもと対応をしてきたのか。また感染者の全数把握の見直しの効果について当局はどう評価しているのか伺う。

答弁 医療を必要とされる方、適切な医療を受けられる方、その方々が適切な医療を受けられる事は重要との考えのもと、病床確保、検査キット配布、自己検査及び陽性者の登録導入等必要な取り組みを進めてきた。

多くの患者の発生届が不要になるなど負担が軽減されており、重症化リスクの高い方への健康相談等に集中して対応できるなど見直しの効果も出ている。

質問 今回の見直しでは発生届が出ていない自宅療養者へのフォローが重要と考えるがどんな対応をとられているのか。

答弁 健康フォローアップセンターの人員を拡充し、新たにオンライン診療を導入し速やかに医療につなげる体制を構築した。

新型コロナウイルスワクチン接種

質問 第7波が続く中、基本的な感染対策と合わせワクチン接種の促進が重要だ。4回目接種への対応状況について伺う。

答弁 9月7日時点で本市民のうち25万人を超える方が接種を終えており、重症化の防止に一定の効果があつたと考えている。

質問 新たなワクチンについて、開始当初から十分なワクチン供給がなされるのか等の不安もあるが、現時点での本市の考え方や準備状況について伺う。

答弁 新しいワクチンは、感染予防効果や発症予防効果も期待されており、感染の抑制に寄与するものと考えている。初回接種を完了した12歳以上の全ての方を想定して準備する。ワクチン供給情報の把握に努めながら、接種体制等の準備を鋭意進めているところだ。

オミクロン株対応

ワクチン接種

ご検討ください。



4 病院の再編について

質問 県が突然打ち出してから既に1年が経過した。市内の大きな2つの病院が市外に移転してしまうかもしれないという大変重大な問題であるにもかかわらず、県は依然として本市が示している具体的な意見や疑問に対し充分応えようとしない。県の進め方に対し、この間市長はどう対応し、これからどうしようと考えているのか伺う。

答弁 水面下での協議が進められ、合意ということになると十分な説明がされないまま市内で重要な役割を担っている2つの病院が市外に移転する事態になってしまう。このことを大変憂慮している。

この再編案の根幹に関わる内容をはじめ、差し迫って重要と考える諸課題を改めて提示すべく急ぎ準備を進めている。

質問 県は「仙台医療圏全体で見た場合新たな拠点病院が、富谷市・名取市に整備されることで本市への搬送が減少し、市内の医療機関における救急受け入れ能力に余力が生じる」と説明している。本当に県の説明通り緊急受け入れ能力に余力が生じ、本市の緊急医療体制にその効果が見込めるのか当局の認識を伺う。

答弁 新病院移転候補地の位置的要素と令和2年の搬送実績を基に試算すると、名取市の候補地は遠方であること、また富谷市の候補地は泉区北東部からの搬送に限られるため、本市からの搬送は相当限定的になるものと予想される。県の「余力が生じる」とした見解とは逆に、本市の救急受け入れが増加するものと見込まれている。

質問 精神医療センターという病院の性格に鑑みても、名取市からあえて富谷市に移す場合、合理性が感じられず医療関係者の間でも否定的な意見が多いと聞いている。このような声も踏まえながら県に対してさらに声を上げていくべきだが、当局の今後の対応を伺う。

答弁 医療関係者や患者の支援団体の方々からも疑問の声を含め様々な意見が示されている。今後県に対してこうした課題等について引き続き見解を求めていく。



製品プラスチック一括回収・リサイクル

質問 他の政令市に先んじて令和5年4月から全市域で実施する事は意義深いことだ。本事業実施の決定に至った経緯と、全市展開に向けた意気込みを伺う。

答弁 本市の廃棄物の焼却処理に伴う温室効果ガス排出量の約7割はプラスチックゴミの焼却により発生している。家庭から出るプラスチックゴミの全量リサイクルを目指ししっかりと取り組みを進めていきたい。

質問 来年4月からすべての市民がプラスチックゴミを家庭ゴミに入れず「プラスチック資源」として分別して出していただけよう十分に理解していただくことが重要だ。どう周知広報を進めていくのか。

答弁 改めて「分ければ資源」となることへの理解を深めていただけるよう町内会やクリーン仙台推進委員の方々と共に連携しながら、ゴミの分別・リサイクル全般についてきめ細かな情報発信に努めていく。

中央卸売市場の再整備について

質問 市場関係者の話を伺っても現地建て替えを望む声が大きく、私としても現地建て替えが最も妥当だと考えるが、市としての再整備の方針、今後の進め方について伺う。また今後どんな市場を目指すのか市長の思いを伺う。

答弁 今後基本構想の策定に着手し整備手法やスケジュール等について市場関係者の方々とは十分に協議を行いながら具体の検討を進めていく。

卸売市場は生産者と消費者等をつなぐ重要なインフラであると認識しており、時代の変化に伴うニーズに対応すべく、生産者や小売業者の皆様方に選ばれ活気あふれる市場となるよう取り組んでいく。



財政運営と今後の見通しについて

質問 決算年度の財政運営について伺う。先行きが不確実な社会経済情勢の中において、決して楽観視できるものではない。現在の財政状況への認識と今後の見通しを伺う。

答弁 この度作成した財政見通しにおいて今

後10年間で3,600億円程度の財源不足が生じる見込みとなり、本市財政は引き続き厳しい状況にあるものと認識している。本市の将来を見据え重要施策を着実に前に進めていくためにも、国費等の財源獲得はもとより税源涵養のための経済施策、事務事業の見直しの徹底など、持続可能な財政基盤の確立を図っていきたい。

質問 これから来年度予算編成に着手される時期であるが、市税収入の見通しと確保について、合わせて市税収納率向上にどう取り組まれるのか伺う。

答弁 令和4年度は法人市民税が減となる一方で、感染症の影響を受けた中小事業者への軽減措置の終了により固定資産税が増となることにより、令和3年度決算と比べ約35億円の増収を見込んでいる。

収納率は現年度分の年度内完納に重点を置いた徴収対策を講じることで、収納率の向上に努め市税収入の安定的な確保に取り組んでいく。

令和3年度決算について

質問 長期化する感染症の影響による交通事業は厳しい経営状況が続いている。2年間の累計では減収額が両事業合わせて100億円を超えようという状況に改めて衝撃を受けている。これまでも両事業の経営は、常に厳しさを伴っていたものと考えますが、これほどの状況は類を見ないのではないかと。交通事業管理者として今回の決算状況をどう捉えているのか伺う。

答弁 乗車料収入が大幅に減少し令和元年度と比べて市バスは約79%、地下鉄は約80%となったところであり、現在も回復は鈍い状況が続いている。経営は極めて厳しい状況にある。



ポイント制度の見直しについて

質問 基本ポイントの付与を終了することで収支改善を図るとのことであり速やかな実施を求めるが、見直しに至った経緯等は十分に理解を得ていく必要がある。改めて見直しの経緯と内容、今後の進め方について伺う。

2023年3月ポイント廃止

icsca



答弁 IC乗車券の利用割合は、市バス・地下鉄ともに9割を超え、IC乗車券の普及を図るといふポイント制度の導入目的は一定程度果たされたものと考えられる。今年度いっぱいをもって基本ポイントの付与を終了することとした。

経営改善に向けた今後の取り組み

質問 感染症の影響に加え燃料費の高騰等もあり、経営環境が好転するという兆しは見えない。持続可能な経営基盤の確保に向けた今後の取り組みについて交通事業管理者の考えを伺う。

答弁 利用状況に応じたバスの便数調整や、地下鉄の運行感覚の見直しなど、収支改善に向けたさらなる取り組みが必要であると認識している。

ガス事業民営化について

質問 原料の価格高騰による原料費の増額等によるものだが、当初予算から4割もの増額となっており、購入量は変わらずすべて価格上昇分とのこと。純利益も23億円から16億円に減少することによって事業への影響が懸念される。民営化を進める重要な時期であり引き続き健全な事業運営が必要だが、所見を伺う。

答弁 今後、お客様の維持や新規獲得はもとより、事業運営のさらなる効率化も進めながらガス事業の民営化も見据え企業価値の向上につながるよう経営基盤の強化に取り組んでいく。

質問 激動する厳しい事業環境の中で本市のガス事業が生き残っていくためには民営化が唯一の道であると信じる。本市の発展に資する民営化を目指し、地に足をつけ取り組んでいくべきだ。ガス事業民営化に向けた市長の思いを改めて伺う。

答弁 現段階では新たな投資に力を注ぐ余裕のある状況にはないと受け止めており、エネルギー業界を取り巻く環境が落ち着き、各社の投資意欲が高まる適切なタイミングを見定めながら環境が整い次第速やかに公募を再開できるよう取り組んでいく。

職員の定年引き上げについて

質問 職員の定年を現行の60歳から段階的に65歳に引き上げる等の内容だ。職員の給料月額は当分の間7割水準とするものとされている。現在の職員の給料水準と比較して高くなると聞いているがこの給料7割措置の趣旨を伺う。

また、人件費等本市財政運営の影響について、併せて伺う。

答弁 60歳を超える民間従業員の給与水準が60歳前の7割台となっている調査結果を踏まえ、当分の間60歳前の7割水準に設定することとした。定年年齢の引き上げ期間中は2

西暦	令和	定年引上	定年年齢	定年者	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	備考
2021	3		60	あり	60	59	58	57	56	55	54	
2022	4		60	あり	61	60	59	58	57	56	55	60歳以後の意思確認
2023	5	+1	61	×なし	62	61	60	59	58	57	56	定年延長開始
2024	6		61	あり	63	62	61	60	59	58	57	
2025	7	+1	62	×なし	64	63	62	61	60	59	58	
2026	8		62	あり	65	64	63	62	61	60	59	
2027	9	+1	63	×なし	66	65	64	63	62	61	60	
2028	10		63	あり	67	66	65	64	63	62	61	
2029	11	+1	64	×なし	68	67	66	65	64	63	62	
2030	12		64	あり	69	68	67	66	65	64	63	
2031	13	+1	65	×なし	70	69	68	67	66	65	64	定年延長完了
2032	14		65	あり	71	70	69	68	67	66	65	

公務員の定年延長 年齢早見表

年に1度定年退職者が生じず退職手当の支給が減少することとなる。これらを勘案すると引き上げ期間中は人件費増には至らないと試算している。

質問 職員採用への影響をどう捉えているのか。年度によって採用数が極端に減ることになれば将来の職員構成に偏りが生じる懸念があるほか、本市内あるいは東北六県の学生と職員を志望する方にとって公平性の観点で問題があるが如何か。

答弁 定年退職者が生じない年度においても職員の年齢構成の平準化や本市を志望する学生等への公平な受験機会の提供の観点から、着実に一定規模の新規採用を行っていく必要があると認識している。中長期的な視点を持ちながら適切な定員管理に取り組んでいく。

一年間の総括と今後の決意について

質問 市長におかれては任期2年目を迎えられた。一年間の市政運営の総括と今後の市政の懸案や新規プロジェクトを軌道に乗せていく市長の決意を伺う。

答弁 本市の未来を見据えた重要なプロジェクトが動き出した今、本市の市政を担う者としての覚悟を持ってこれらを強力に押し進め、議会の皆様方の引き続きのご支援とご理解を賜りながら109万市民の笑顔があふれる街の実現に向けて取り組んでいく。

令和4年第3回定例会 決算等審査特別委員会岡部恒司質問項目

★選挙について

- 選挙啓発費
投票率向上への取り組みを強化
- 立候補手続きの簡素化をすべし!



★環境費について

- 脱炭素都市づくり
- 家庭用指定袋の国内製造を進めるべき!
- 杜の都の環境プラン
 - ・地球温暖化対策推進計画
 - ・一般廃棄物処理基本計画の進捗は?
- ゴミ処理手数料の在り方の検討はいかに
- 防災環境都市づくり、SDGsへの取り組み



★防犯カメラ設置等事業補助

- 経緯、現状、目標は?
- 防犯カメラの設置の効果
- 申請ハードルが高い!
手続きの簡素化を!設置・管理費用の補助費を増額すべし! etc
- 「地域防犯体制強化で子供たちを守れ!」



貨物運送事業者向けの燃料費負担の軽減に資する補助を要望中!

宮城県トラック協会仙台支部520社、約8,000台に支援を!

コロナの影響、人出不足、燃料価格高騰等により、貨物運送事業の経営状況は悪化!
物流を守るために、仙台市からも支援を!



他会派 代表質疑 質疑項目

市民フォーラム仙台

●4病院再編問題に対し最大限の手立てを

質問 4病院再編問題における県の方針は到底容認できない。病院側が抱える課題の解決について本市として最大限の手立てを検討すべき。

答弁 特定の病院に対し、本市として特別な取り扱いをすることは、公平性の観点からも難しいと考えている。県に対しては、再編案に関し、特に重要と考えられる諸課題を改めて整理した上で早急に提示し、説明を強く求めるとともに、引き続き状況を確認しつつ、必要な対応を取りたい。

●漏水事故が起こらぬよう老朽化した水道管の更新を

質問 水道管破損に伴う大規模漏水事故が再度起こらぬよう、老朽化した管路の適切な更新を求める。

答弁 老朽化した管路については、その経過年数に重要度や耐震性などを加味して総合的に優先度を評価し、計画的な更新に取り組んでいる。アセットマネジメントにおいては、段階的に管路更新のペースアップを図っており、埋設管の腐食状況や周辺土壌の影響などを調査し、管路の更新時期の判断に活用している。引き続き、安全で良質な水道水を安定して供給するため、必要な対策を講じたい。

公明党

●マイナンバーカードやマイナポイントの申請促進策の拡大

質問 混雑するマイナポイント設定支援ブースの開設時間の拡充や支援員の増員、マイナンバーカード申請促進のための身近な施設等での出張申請サポートの実施等、体制を強化すべき。

答弁 各区役所等に設置しているマイナポイント設定支援ブースについては、すでに支援員の増員や当日予約の制度を導入し、さらにブースの拡充等を協議している。また、マイナンバーカード申請窓口については、特設センターの開設等を実施した。今後は多くの集客が望める商業施設等の活用も検討しており、引き続きカードの申請促進に努める。

●児童館・児童クラブの環境改善を図れ

質問 児童クラブの登録児童数の急増により、児童館機能の確保が難しくなっている。環境改善等により安定した児童館・児童ク

ラブ事業の運営を行う必要があるが、所見を伺う。

答弁 児童館・児童クラブ事業を安定的に運営するため、外部有識者による「児童館・児童クラブのあり方検討部会」を立ち上げた。児童の居場所としての安心・安全な環境づくりや子育て支援機能の強化等、さまざまな観点から検討を進め、児童館が地域に根差した身近な施設としての機能を十分に発揮できるよう取り組む。

せんだい自民党

●一段高い都市経営の視点を持った市政運営を

質問 令和5年度から年間の収支差はマイナス3,628億円程度で、職員の定年延長で人件費も上乘せされる。大型事業への投資が続くため、一段高い都市経営の視点が必要だ。市長は将来の本市の姿をどう描くのか。

答弁 さまざまな財政需要に対応する一方で、新本庁舎建設等の施策も未来への投資として重要。バランスを取りつつ計画的に実施

みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら
お気軽にお知らせください。

●仙台市政

に対してのご意見を一言お願いいたします。

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786

するため、税源涵養や国費等の財源獲得で歳入を広げながら、事業の厳選重点化や見直しを行い、持続可能な財政基盤を確立し、将来にわたり活力あるまちを次世代に受け継いでいきたい。その上で、まちの活力を生み出すために市民協働が重要であり、力を入れながら努めていきたい。

●中国の新疆ウイグル自治区に置ける深刻な人権侵害

質問 国連人権高等弁務官事務所は、中国の新疆ウイグル自治区での強制的医療行為や拷問等の深刻な人権侵害を指摘した報告書を発表した。言語道断だ。市長の見解を伺う。

答弁 いかなる国であっても人権侵害は許されないということは、世界の人々の共通の思いであると認識している。この問題が、国際社会と協調した取り組みで早期の解決に向かうことを切に願う。

社民フォーラム

●新型コロナ感染者の全数把握見直しの課題

質問 新型コロナ感染者の全数把握見直し

とに伴い、健康観察の対象から外れた自宅療養者の方々について、対策の在り方を伺う。

答弁 食料等生活支援物品の配送を受け付けるほか、体調悪化等の際の相談を受ける健康フォローアップセンターの周知に努めている。今後とも、新型コロナ陽性となった方が安心して療養できるよう、必要な支援を行っていく。

●職員の定年延長に伴う定数管理の課題

質問 これまで定年退職者を補充する形で新規採用を行ってきたが、職員の定年延長に伴い、定年退職者がいない状況で新規採用ができない事態等の課題に関し、定数管理について所見を伺う。

答弁 必要な人員数の見通しを精査し、年度ごとの平準化を考慮しつつ、定年退職者が生じない年度においても、一定規模の新規採用を確保していく必要があると認識している。今後は、新規採用者の着実な確保とともに、増加する高齢期職員を積極的に活用した組織体制の構築を進めながら、適切な定数管理に取り組む。

日本共産党

●法的根拠のない安倍元首相の国葬と半旗掲揚は中止すべき

質問 国葬に対する世論は二分している。多様な市民意見に応えることが求められる首長として、過半数に及ぶ国葬反対の意思をどう反映させるのか伺う。

答弁 国葬儀に対してさまざまな意見があることは承知しているが、国が国葬儀の実施を決定したのであれば弔意を市として示すことは当然であると考え。また、半旗を掲揚することは政治的な行為とは認識しておらず、市民に対し弔意を強制するものではなく、内心の自由や表現の自由に反するものではないと捉えている。

郵便はがき

9 8 1 0 9 3 3

投函される場合は、恐れ入りますが、52円切手を貼付してご投函お願いします。

仙台市議員
岡部恒司 行

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号501

※是非ご記入ください。

ご住所	お名前
	様

みなさんの声で
住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事が
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。

または、お電話・FAXでも承ります。

TEL 022(271)1770 FAX 022(271)1786